

引用して考えを書こう

🔍 たしかめ --- 🗨️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

📖 きょうの
めあて

しりょう
本や資料の言葉を正しく引用して、
自分の考えと区別して書こう

🔍 まず、たしかめよう

- 引用するときは、元の言葉をそのまま「」に入れ、何から引用したか（出典）を書く。
- 引用した部分と、自分の考えを書いた部分を分ける。
- 『身近な生き物図かん』には、「ツバメは、どろとかれ草で巣^すを作る」と書かれている。
わたしは、.....と考える。

🗨️ いっしょにやってみよう

れい 引用した部分は どこ？

① 「」の中が、
本の言葉。

② 「わたしは」から
後は自分の考え。

③ 「」の中

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 正しい引用は？

☐ 本に「巣^すは、おわんの形をしている」と書かれている。

☐ 本に、巣^すはたぶん おわんっぽいと書いてあった気がする。

② 引用するときに書くとよい出典は？

☐ 本の題名・書いた人

☐ 本を読んだ時こく

③ 上のれいの引用の後に続く、自分の考えを一文で書こう。

答え

1. 本に「巣^すは、おわんの形をしている」と書かれている。 2. 本の題名・書いた人
3. 例：わたしは、身近な材料で巣^すを作るツバメは、くふう上手だと考える。

漢字（生き物とくらし）

たしかめ --- いっしょに --- やってみよう（3もん）

きょうの
めあて

生き物やくらしに使う漢字「^す巢・^{まき}牧・^{がい}害」を読んで書こう

きょうの漢字

音 ソウ
訓 す
す 巣
すばこ 巣箱
巢

音 ボク
訓 まき
ぼくじょう 牧場
ぼくそう 牧草
左は 牛へん
牧

音 ガイ
がいちゅう 害虫
がい 害
上は うかんむり
害

いっしょにやってみよう

れい 「ぼくじょう」を漢字で書くと？

① 牛や馬をかう
ところ。

② 「牧」は牛へん。

③ 答え 牧場

やってみよう

♡ できたところまででOK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) 鳥が巢を作る。

(2) 牧場で牛を見る。

(3) 害虫から野菜を守る。

② □に漢字を書こう。

(1) ^す
□ 箱

(2) ^{ぼく}
□ 草

(3) ^{がい}
□ 虫

③ 「牧」の部首は？

☐ うしへん

☐ てへん

答え 1. (1) す (2) ぼく (3) がい 2. (1) 巢 (2) 牧 (3) 害 3. うしへん

短い報告文を書いてみよう

🔍 たしかめ --- 🗨️ いっしょに --- ✎️ やってみよう (3もん)

🚩 きょうの
めあて

これまでに学んだ組み立て・段落・理由や
事例を使って、短い報告文を書こう

🔍 架空の人物のメモ（自分で調べたことを使ってもよい）

きっかけ：雨の後、水たまりが消えていた。 調べ方：図かんを読んだ。

分かったこと：水は地面にしみこんだり、水じょう気になったりする。

考え：晴れた日は、水たまりが早く消えるのではないかな。

🗨️ いっしょにやってみよう

れい どの順に書く？

① きっかけ

② 調べ方・分かったこと

③ 考えたこと

✎️ やってみよう

♥️ できたところまでで OK

① 一つ目の段落（きっかけ）を書こう。

② 二つ目の段落（調べ方と分かったこと）を書こう。

③ 三つ目の段落（考えたこと）を、「～と考える」を使って書こう。

答え

- 例：雨の後、水たまりが消えていた。水がどこへ行ったのか知りたくなった。
- 例：図かんで調べると、水は地面にしみこんだり、水じょう気になったりすると分かった。
- 例：晴れた日は、水たまりが早く消えると思う。

まとめ① 漢字と言葉

🔍 たしかめ --- 🗨️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

🚩 きょうの
めあて

4年で学んだ漢字や言葉を、文の中で使おう

🔍 まず、たしかめよう

- 漢字：読み方は、前後の言葉や送りがなで決める。
- 言葉：にた意味・反対の意味・慣用句・ことわざ^{かんようく}を、場面に合わせて使う。
- 文：主語と述語^{じゅつご}、修飾語^{しゅうしょくご}、指示語^{しじご}、つなぐ言葉に気をつける。

🗨️ いっしょにやってみよう

れい 「一億」の「億」は、どう読む？

- ① 音読みで読む。 ▶ ② 「おく」。 ▶ ③ 答え いちおく

✎ やってみよう

♡ できたところまででOK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) 初めて泳げた。(2) 結果を記録する。

② () に合う言葉を選ぼう。「天気よほうは雨だった。()、一日中晴れた。」

☐

ところが

☐

そのため

☐

たとえば

③ 「目を丸くする」を使って、短い文を書こう。

答え

1. (1) はじ (2) きろく 2. ところが 3. 例：大きなケーキを見て、目を丸くした。

まとめ② 読むこと

🔍 たしかめ --- 🗨️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

🚩 きょうの
めあて

だんらく

段落の関係や中心文に気をつけて、説明文を読もう

🔍 読む文章

- ① 木の葉は、秋になると色が変わるものが多い。
- ② たとえば、イチヨウの葉は黄色に、モミジの葉は赤色に変わる。
- ③ このように、秋の木の葉は、種類によってちがう色に変わる。

🗨️ いっしょにやってみよう

れい ②の段落の働きは？

- ① 「たとえば」で始まる。 → ② ①の例をあげている。 → ③ ①の具体例

✎ やってみよう

♥ できたところまででOK

1 ③の段落の働きは？

☐ まとめ ☐ 問い

2 ①の段落の中心となる言葉は？

☐ 色が変わる ☐ イチヨウ

3 この文章を、一文で要約しよう。

答え 1. まとめ 2. 色が変わる 3. 例：秋の木の葉は、種類によってちがう色に変わる。